

JR連合 政策News

第219号

2012年6月13日

国会議員懇談会で各種政策課題を議論！

今後JR連合が取り組むべき政策課題について意思統一を図る！

JR連合は、6月7日朝、衆議院第2議員会館第4会議室において、第52回国会議員懇談会を開催した。

懇談会には、国会会期中の多忙の中、松野頼久会長（衆）や高木義明顧問（前文科大臣、衆）、吉田治国土交通副大臣、岩本司農水副大臣など7名の国会議員と秘書7名、JR連合、JR単組代表者が参加し、中長期的な政策課題、当面の組織課題などについて報告、討議を行い、今後の国会対策の方針について意思統一を行った。また、今



回は、JR連合自動車連絡会西原代表幹事も参加し、関越自動車道事故を受け、高速ツアーバス問題の今後の取り組み方針などについて、意見交換を行った。

冒頭松野会長より、高速ツアーバス問題に対する抜本的な対策の必要性を訴えるとともに、消費増税問題を含めた政局報告などを行った。また、次年度概算要求についても触れ、JR連合としての要望を集約し、国政に反映させる決意を述べた。

JR連合を代表して坪井会長は、JR三島・貨物会社への税制特例措置の延長に関する議員各位の今日までの取り組みに敬意を表したうえで、高速ツアーバス問題に対するJR連合としての決意を述べるとともに、JRが抱える中長期的な政策提言にむけて、JR連合国会議員懇談会と連携を図りながら、プロジェクトチームを発足させ、持続可能な交通体系の構築にむけてJR連合がリーダーシップを発揮することをあらためて表明した。また、来る国会議員懇各位の選挙戦に対して、JR連合として全力で取り組む決意を述べた。

議事では、①中長期的政策課題への具体的な取り組み、②ツアーバス問題に対する対応、③被災地における鉄道復旧の取り組み、などについて説明するとともに、当面する課題について意見交換を行った。

JR連合はJRの責任産別として、JRに関わる政策課題の解決に向けて、国会議員懇談会各メンバーと連携を強化し、取り組んでいく所存である。